

農業

科目名	総合実習			単位数	1 単位
学科名	コミュニティデザイン科	学 年	2 学年G L コース	予定時数	3 5
1 学習目標					
コース学習に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、地域農業の改善を図る実践的な能力をと態度を学ぶ。					
2 指導の重点					
伊那谷地域の農業を体験的に学ぶ中で、地域資源の活用方法や地元関連産業や大学との連携を踏まえながら、企画力や管理能力を育てる。					
3、学 習 内 容					
【1 学期】	(1) 伊那谷の地域資源の活用方法 (2) 伊那谷の観光の魅力の再発見 (3) 伊那谷の食の商品開発、学校農業クラブ活動				1 0 時間
【2 学期】	(1) 企業との連携 (2) 大学や商店街との連携				1 4 時間
【3 学期】	(1) 取り組みのまとめ (2) 地域や企業、大学との情報交換				1 1 時間
教科書					
副教材					

評 価 基 準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学 習 姿 勢		◎		5 0 %
実 習			◎	3 0 %
レ ポ ー ト	◎	○		2 0 %
評価の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源や食文化等に興味関心を持ち、伊那谷を含めた長野県の地域探究学習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。実習の服装・身なりがきちんとできている。 ・ 地域資源や食文化を中心とした伊那谷を含めた長野県の地域に関わる知識と技術を基に、課題解決に向けた取り組みができる。 			

科目名	地域資源活用			単位数	2単位
学科名	グローバルコース	学 年	2 学年	予定時数	70
1 学習目標 伊那谷地域の暮らしを見直し、地域資源の発見や有効的な活用方法を理解させると共に、地域に根ざした事業の振興に寄与できる能力と態度を育てる。					
2 指導の重点 地域資源の発見・保全・活用に重点をおきながら、高校生の視点から地域の活性化のための方策を探り、地域と協働した実践的体験を通して「人間力」の向上を図る。					
3、学 習 内 容					
【1学期】	(1) 自己理解の学習 (2) 外部講師等による聞くスキル、話すスキルの学習 (3) 地域探求の具体的計画の立案および方法の検討				20時間
【2学期】	(1) 地域人材の選定 (2) レポーターとしての事前学習 (3) レポートの実践				30時間
【3学期】	(1) レポートのまとめ方の学習 (2) グループワークによる情報共有				20時間
教科書	地域資源活用（実教）				
副教材					

評 価 基 準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学 習 姿 勢	○		◎	30%
レ ポ ー ト	◎		○	20%
パネルセッション	○	◎		50%
評価の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会、地域資源に関心を持ち、その重要性を認識し、授業に意欲的に取り組み、創造的、実践的な態度を身につけている。 ・地域資源を生かした地域活性化について自ら思考を深め、基礎的、基本的な知識と技能を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。 ・域社会、地域農業の理解に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している 			

農業

科目名	総合実習			単位数	4単位
学科名	コミュニティデザイン科	学 年	3学年GLコース	予定時数	140
1 学習目標					
コース学習に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、地域農業の改善を図る実践的な能力をと態度を学ぶ。					
2 指導の重点					
伊那谷地域の農業を体験的に学ぶ中で、地域資源の活用方法や地元関連産業や大学との連携を踏まえながら、企画力や管理能力を育てる。					
3、学 習 内 容					
【1学期】	(1) 伊那谷の地域資源の活用方法 (2) 伊那谷の観光の魅力の再発見 (3) 伊那谷の食の商品開発、学校農業クラブ活動				50時間
【2学期】	(1) 企業との連携 (2) 大学や商店街との連携				60時間
【3学期】	(1) 取り組みのまとめ (2) 地域や企業、大学との情報交換				30時間
教科書					
副教材					

評 価 基 準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学 習 姿 勢		◎		50%
実 習			◎	30%
レ ポ ー ト	◎	○		20%
評価の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源や食文化等に興味関心を持ち、伊那谷を含めた長野県の地域探究学習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。実習の服装・身なりがきちんとしてきている。 ・地域資源や食文化を中心とした伊那谷を含めた長野県の地域に関わる知識と技術を基に、課題解決に向けた取り組みができる。 			

科目名	課題研究			単位数	3単位
学科名	コミュニティデザイン科	学 年	3 学年G L コース	予定時数	1 0 5
1 学習目標					
伊那谷地域の課題や地域の暮らしや食文化の学びを通じ、自らテーマを設定し、探究的な学習を通し科学的思考力と課題解決能力を育成し、専門科目に関する知識と技術をより深め、各分野で活用するより実践的能力と態度を育む。					
2 指導の重点					
2 年生までの学習を踏まえ、伊那谷地域の課題や暮らし、食文化を知ること、各自のテーマを設定し、より科学的視点から課題解決の方法を探索し、課題解決の力を養う。					
3、学 習 内 容					
【1 学期】	1. 課題やテーマの設定 2. 実施計画の立案 3. 研究の準備や事前学習、実践				4 0 時間
【2 学期】	・ 研究活動の実践 ・ データーも解析とまとめ ・ ポスターセッション(マイプロジェクト)準備				5 0 時間
【3 学期】	1、発表会の準備 2、発表会の実施、運営 3、マイプロジェクトの発表				1 5 時間
教科書					
副教材					

評 価 基 準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学 習 姿 勢	○	◎	◎	3 0 %
実 践	◎	○	○	3 0 %
研 究 発 表	◎	○	○	2 0 %
ポスターセッション	○	◎	◎	2 0 %
評価の重点	・ 伊那谷地域の課題に関心を高め、その重要性を認識し、地域活性化への関わりを意識したテーマ設定であるか。 ・ 具体的解決のための取り組みの中で、科学的な視点で課題解決の方法が探求されているか。 ・ コミュニケーションの基本的な技術を身に付け、計画を立て、技術を活用できるか。 ・ 地域プロジェクト学習の意義や役割を理解している。			

科目名	食品流通			単位数	2単位
学科名	コミュニティデザイン科	学 年	3学年G Lコース	予定時数	70
1 学習目標					
農産物や加工品の原料となる食品の流通に必要な知識と技術を習得させ、食品の特性と流通構造を理解させるとともに、食品の流通と管理の合理化を図る能力と態度を育てる。					
2 指導の重点					
伊那谷地域の具体的な事例で実践的・体験的に学び、食品の特性と構造を理解させると共に、高校生の視点で、商品開発や起業的な活動も取り入れながら、地域食材についての学びを深めさせる。					
3、学 習 内 容					
【1学期】	1 食品流通のしくみと働き (1) 食品流通の特徴 (2) 食品流通のしくみ (3) 価格形成と流通経費 2 食品の品質と規格 (1) 食品の品質と安全性 (2) 品質と品質保証 (3) 規格、表示と検査				20時間
【2学期】	1 商品開発立案 (1) 伊那谷の伝統野菜についての学習 (2) 昆虫食の歴史と現状 (3) 加工品商品化の考案と製造検討				30時間
【3学期】	1 食品マーケティング (1) 食品市場の調査 (2) マーケティングの意味と発展 (3) マーケティング戦略の手法 (4) 食品マーケティングの実際				20時間
教科書	食品流通(実教)				
副教材					

評 価 基 準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学 習 姿 勢		○	◎	50%
実 習	◎		○	30%
レ ポ ー ト	○	◎		20%
評価の重点	・食品製造・食品衛生に関心を持ち、その重要性を認識し、授業に意欲的に取り組み、創造的、実践的な態度を身に付けている。 ・食品流通と食品産業について自ら思考を深め、基礎的、基本的な知識と技能を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。 ・食品製造・食品衛生に関する基礎的・基本的な知識を理解している。			

科目名	伊那谷探究			単位数	2 単位
学科名	コミュニティデザイン科	学 年	3 学年 G L コース	予定時数	7 0
1 学習目標					
伊那谷の食文化や伝統文化や暮らしを探究的に学ぶことで、地域の姿や課題を発見し、自らの知識と行動でどんなことができ、地域とどう関わっていくかを学ぶ。					
2 指導の重点					
長野県の産業や食文化を学ぶことで、伊那谷地域の特色ある暮らしや地域性を探究し、グループワークを通じた課題発見と地域と関わる実践力を養う。更には、伊那谷地域の「観光」にも目を向け、探究を深めさせる。					
3、学 習 内 容					
【1 学期】	1 長野県を知る 1. 長野県 of 自然 2. 長野県 of 歴史 3. 地理的特性 4. 産業や食文化				2 0 時間
【2 学期】	1 伊那谷における産業や食文化 ・ 伊那谷 of 歴史 ・ 伊那谷 of 地理的特徴 ・ 伊那谷 of 産業や食文化 ・ 随時野外調査を含む				4 0 時間
【3 学期】	1 マップ of 宣伝方法についての学習 1、伊那谷 of 観光についての学び 2、伊那谷観光マップ of 作製				1 0 時間
教科書					
副教材	わたしたち of 信州学（長野県教育委員会） 伊那市郷土学習読本「わたしたち of ふるさと」（伊那市教育委員会）				

評 価 基 準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学 習 姿 勢		○	◎	5 0 %
実 習	◎		○	3 0 %
レ ポ ー ト	○	◎		2 0 %
評価の重点	・ 伊那谷地域の暮らしや、地域資源に関心を持ち、その重要性を認識し、授業に意欲的に取り組み、創造的・実践的な態度を身につけている。 ・ 伊那谷地域の地域活性化や観光について自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技能を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。 ・ 長野県や伊那谷地域の探究方法の技術を身に付け、その成果を的確に表現する。 ・ 長野県や伊那谷地域の食文化や観光についての学びを深め、理解している。			

科目名	農業情報処理活用			単位数	2 単位
学科名	コミュニティデザイン科	学 年	3 学年 G L コース	予定時数	7 0
1 学習目標 農業教科のまとめとして、今まで取り組んできた農業学習をまとめ表現させる技術を身に着け、学校や地域の文化や資源を調査して表現することで知識の共有と深化を図る。					
2 指導の重点 (1) 取材活動やデータ収集技術の体験を通じて身に着ける。 (2) 画像の撮影やスキャナでの取り込み技術を身に着ける。 (3) プレゼンテーションソフトを使った編集技術を身に着ける。 (4) プレゼンテーションを校内や地域に向けて行い、プレゼンテーション能力を身に着けるとともに他者に評価アドバイスをもらうことで技能向上と社会性を身につける。					
3、学 習 内 容					
【1 学期】	1. プレゼンテーションソフトの理解 2. プレゼンテーション検定への取り組み 3. 学校紹介プレゼンテーション作成のための取材活動				2 0 時間
【2 学期】	・ 学校紹介プレゼンテーション作成 ・ 発表会と文化祭展示 ・ 地域紹介プレゼンテーションのための取材活動 ・ 画像編集				4 0 時間
【3 学期】	1、発表会の準備 (2) 発表会の実施				1 0 時間
教科書	農業情報処理(実教)				
副教材					

評 価 基 準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学 習 姿 勢		○	◎	5 0 %
実 習	◎		○	3 0 %
発 表 ・ 課 題	○	◎		2 0 %
評価の重点	・ 農業や地域の課題に関心を高め、地域活性化へ意欲をもって取材やまとめプレゼンテーションを行うことができるか。 ・ 具体的解決のための取り組みの中で、科学的な視点で課題解決の方法が探求されているか。 ・ コミュニケーションの基本的な技術を身に付け、計画を立て、技術を活用できるか。 ・ 文書・画像編集やプレゼンテーションソフトの利用を理解しているか。			